

# ぼくのノオト

## ⑮ 生き物たちのサバイバル

生物史上最強の生き物と思っていたゴキブリ。そのゴキブリが捕食されていたのを、沖縄で見つけた時は驚いた。そのハンターはアシダカグモ。糸の巣を作らず、獲物を求めて家の中を徘徊している。そんな猛者たちに劣らぬ、強靱な生き物が出没した。

薄暗い朝の台所、シンクの中でもぞもぞ動く黒い物体。ギョッ！ それは、手のひらサイズの巨大ムカデだ。新聞紙を丸めて潰してしまおうかと思ったが、敵はシンクの中。冷静に考え、食器用洗剤攻撃としたが、ゴキブリには有効な洗剤が効かない。

ムカデは足をぬるぬる滑らせ、楽しそうにしていた。どうしたものかと、歯磨きをしながら考え、百本もなさそうな足の動きを観察してみた。嫌がらせのつもりで、口の中にたまった歯磨きと唾液を吐きかけると、硬い甲羅を持つムカデが、その長い背中をのけぞらせ息絶えた。

非暴力？ とはいえ無益な殺生をしてしまった。そうだ、ハエたたきを買に行こう。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操